

2018－19年度EMC事業通信 No.2



2018－19年度EMC事業主任 小野 勅紘(とちくに) (六甲部西宮)

各部EMCシンポジウム(フォーラム)始まる

いよいよ今期も順調に本格始動いたしました。7月は3回のEMCシンポジウム(例会を含む)が開催されました。

- ・7月17日(火)岡山クラブEMC例会 (岡山教会)
- ・7月21日(土)六甲部第一回評議会・EMCシンポジウム (神戸YMCA)
- ・7月22日(日)九州部第一回評議会・EMCフォーラム (熊本YMCA)

➤EMCシンポジウムは各部が主体となって、今期のEMC事業を開始するに当たって、共通の認識と目標などを確認して活動していただくための勉強会です。従って出来るだけ部内の多くのメンバーに集まっていただき、早期に開催していただくことが肝要です。運営は各部の部長をはじめ、EMC事業主査、あるいは部EMC推進チームリーダーが中心になって開催していただいています。

➤今期のEMC事業方針を知っていただき、現状を認識するためにゲストスピーカーをお呼びいただいたり、興味を持っていただくために さまざまなイベントを交えて開催していただくことは大いに有効かと思えます。シンポジウムの開催日時、会場などと一緒に内容などは前もってご相談下さい。

○岡山クラブ7月第一例会「EMC例会」:

岡山教会において例会が開催されました。最初の30分間今期のEMC事業方針や目標値などの資料をOHPで開示して説明いたしました。瀬戸山陰部として別途シンポジウムが開催されると思いますが、今回は岡山クラブの皆様が特にEMC事業の認識を新たにするという目的でEMC例会を開催されました。特に、瀬戸山陰部は昨今会員数が激減しており、そんな中で岡山クラブはリーダーとなって部を盛り立てていただきたい存在として期待しております。

昨今、退会が恒常化して「負の連鎖」となっているケースは是非断ち切っていただきたい。その時何があったのか、退会の動機は何なのかをよく調査していきたい。退会の動機として、「高齢」や「健康上の理由」や「死亡」などは致し方ありませんが、「自己都合」とか「一身上の理由」などが一番対応に困ります。退会されたご本人を探し出して、お聞きするわけにはいきませんから、若干の想像もありますが、分かる範囲で調べていただきたい。その裏返しが対策なのです。対策を講じない活動はいずれ疲弊していきます。ここは勇気を持っ

て動機(PLAN)→調査(DO)→検討(CHECK)→対策(ACTION)のサイクルを回して向上させていただきたいと思います。

残った時間ワイズ将来構想特別委員会が作成したDVD(各クラブ会長に配布)を上映しようとしたが、装置がなく今回は各クラブで見えていただくことにしました。時間まで質疑応答を受けました。

○六甲部第一回評議会・EMCシンポジウム

第一回評議会は、瀬戸山陰部からも9人のメンバーが臨席されて、中心の議題は、瀬戸山陰部が六甲部に合流するという重要議題のために、時間をオーバーして、EMCシンポジウムの持ち時間が50分から30分を切ってしまいました。私の話が長いことを、よく知っておられるメンバー(特に自クラブの西宮のメンバー?)からは「時間もないし、もう辞めようか」との声もありましたが、「是非やりましょう」との一声でスタート、30分のところを15分で切り上げて、後の15分をDVDの上映に当てました。質疑応答も含めてきっちり30分で切り上げることが出来ました。省略した内容は配布した資料をどれだけ見ていただけるかに掛かっています。内容としては岡山でリハーサルを行っていますが内容は同じです。ただし、パソコンのプレイヤー使用のDVDは声が小さく、私が読んで説明いたしました。過去の「負の連鎖」の動機分析は今後詳しく調査して対策に当てたい。

終了後、瀬戸山陰部からの参加者を含めて近くのグリーンホテル神戸で懇親の時を持ちました。冒頭大阪でのワイズ将来構想特別委員会に出席の大野直前理事も駆けつけてられて加わって、大いに盛り上がり散会いたしました。

○九州部第一回評議会・EMCフォーラム

九州部では午後からまず評議会を審議して、2階から1階に会場を変えてEMCフォーラムを持ちました。最初にワイズ将来構想特別委員会作成のDVDを上映しました。ここでも声が小さく聞こえ辛いものでしたが、スピーカーにマイクを接触させて何とかお聞きいただくことが出来ました。その後は六甲部でも使用した資料に基づいて説明をいたしました。やはり過去のデータでは退会が連続する「負の連鎖」を見逃してしまうところに改善の道が閉ざされている。退会動機を見逃さず動機を分析し、その対策は望まれるところです。ただし、部によって必ずしも一致しない傾向があり、それは部やクラブの特性や得意分野を活かした増員計画が必要であるところです。その後上村真智子九州部部長のリードにより、いくつかの質問事項に見合った各自のレーダーチャートグラフに傾向を記入

ていき、各グループ毎に分かれたグループ毎の傾向図を作成するというユニークな試みでした。代表的なグループを抽出して発表していただき、今後の方針を導き出すという、ユニークなフォーラムでした。

終了後近くの飲食店での懇親会で大いに盛り上がりました。さすが九州部の熱い思いを感じとったフォーラムでした。



○今後の予定

8月24日(金)京都部EMCシンポジウム 京都駅前キャンパスプラザ

8月25日(土)中西部EMCシンポジウム 大阪木材仲買会館

9月8日(土) 阪和部EMCシンポジウム 南大阪YMCA

9月29日(土)西中国部EMCシンポジウム 白龍湖 (西中国部部会)